

SASUE LIBRARY  
町立  
**指江図書館**  
TEL0996-88-6500



池上彰 著  
経済のことよくわからないまま  
社会人になってしまった人へ  
池上彰 著  
知っておくべき基礎知識を  
簡単にまとめた経済の本で  
す。世の中の仕組みがはつき  
り見えてくるはずですよ。

TAKANOSU LIBRARY  
町立  
**鷹巣図書館**  
TEL0996-86-1111



ウィリアム・ビー 作  
さてさてきしゃははしります…  
ウィリアム・ビー 作  
シャッシュー、ケ・キ、コ・  
チャ、マダーン…。いろんな音  
が聞こえてきました。さてさて、  
どんな人がのっているの？

町立図書館おすすめ  
**新刊紹介**

図書館においてある最新本の中から  
おすすめのことをピックアップ。  
バラエティに富んだ新刊をご紹介します。

Pick Up New publication

長島  
文芸

Nagashima Bungai  
ながしまぶんげい

明神俳句会

燕の子鳴くやずしりと児の重み  
青嵐ブーツを履きし龍馬像  
父の日の尽きぬ想い出流行歌  
子つばめに構へる三毛を叱りけり  
三度目に燕解りてひと家族  
梅雨の星夫すむ黄泉の灯とおもふ  
父の日のほうびは孫の参観日  
打てば心えて完熟西瓜かな  
淵脇 護  
筑前 初市  
関 佳代美  
二階堂妙子  
大堂 早苗  
山寄加代子  
中橋 藤七  
迫口 君代

長島短歌会

大蒜の球根引き抜き干しあげて夏の体調思ひて備  
ゆ 町田キクエ  
一年の忌を終へて寂しき今朝の空灰色重く墓参に  
急ぐ 吉田 映子  
歯科院の窓辺にもみじ緑なしひそと揺らぎて降る  
五月雨よ 市尾 操  
茜して暮れゆく空の遙かなり金星ひとつ瞬き初め  
る 岩下 ち江  
ざらざらと夕日に輝く海の面に帰り来るらし釣り  
船映る 岩下 房代  
今替へし敷料を背に四肢伸べて仔牛ら寝ぬる薄目  
になりて 米尾 和子  
流れつつ雲の形は変わりゆく草抜く手を止め飽かず  
眺むる 坂之下典子  
田畦焼く四筋の煙たなびける匂ひこもりて遠き日  
想ふ 中山タマエ  
久方の雨に紫陽花色冴へて朝日にきらり露こぼし  
をり 浜田美代子

生れ出づる子牛もともに葬るとぞ梅雨空仰ぎ人ら  
は泣かん 浜畑 松枝  
嫗らと共に折りたる紙兜被れば沸きでる「戦友」  
の歌 林 ヒロ  
洞窟の観音堂より見る港揺るるともなく釣り船浮  
かぶ 本田 幸子  
夕ぐれて霞む天草稜線に茜ひと筋沿ひて光れる  
松元 睦子

創生短歌会

要領の悪き生き方する我に身の丈ほどの晩年の幸  
母の日という日がありて遠く住む娘より電話のか  
かりて来たり 石原百合子  
車椅子に乗りて方向を指に差す男が乗りて女が押  
せり 宮元 司  
寿命とう電池背負いて生きていつかわ切るる  
その日来るまで 野村 益信  
生垣に登りつめたるジャスマンの白妙の花終日句  
う 大塚 洋子  
病よりたちあがり来て我が歩む山の木の中に梅雨  
の海見ゆ 村上 義彦  
大雨をラジオの告げて車より降り来て家のテレビ  
にも聞く 山下 学

一般作品

俳句  
めだか追う老若男女童かな  
昼闇く紫陽華に降る灰の街 笹元 政美  
何事も我なさずともならぬなり人をたよらず我な  
す事よ 町田 末則  
同窓の会誌は来たりなつかしも逝く友共に吾れ未  
だ残る 鶯出 成人  
来年の桜見ようと語りし日母亡くなるを思いもせ  
ずと 中仮屋辰子